

本年度、和がまちデザイン委員会ではJ Cと能動的市民が協働し構築された新たなコミュニティの中で社会を担う力が強くなることにより、国家・社会の形成者としての人材が躍動する魅力ある浦安をデザインするために、事業を行って参りました。

11月の事業では、「広げよう！コミュニティの和」～わがまち子ども食堂～を開催しました。キックオフでは浦安子ども食堂コミュニティ代表 梅澤 岳様を講師としてお招きし、子ども食堂の現状をご講演頂きました。ご講演のあとには浦安高校の生徒さんたちを交えて子ども食堂本番の内容をグルーワーク形式で意見を出し合いました。積極的に意見を出し合い笑顔で話し合いに参加していました。子ども食堂本番ではベシニア浦安様11名、浦安高校の生徒さん6名のご協力と一般の方32名のご参加して頂きました。ベシニア浦安さんが用意して頂いた昔の遊び、輪ゴム鉄砲や折り紙、けん玉などで、0歳～80歳までの世代間交流が行われました。住職体験、住職さんによる読経など、浦安高校の生徒さんが考えた内容を実際に行い、普段では体験出来ないことを一般参加者の方々に体験して頂きました。お寺という地域に必ずあるけどなかなか中を歩いたりすることのない場所で、イベントが出来たことにより、参加して頂いた方々にはより地域の中のお寺を身近に感じて頂けたと思います。参加した生徒さんからは、また「子ども食堂」にボランティアとして参加したいとお言葉も頂き、地域コミュニティへの参加を促す結果となりました。また、高校生が自ら企画し、作り上げた子ども食堂は、若い世代が今後のまちづくりを担うリーダー育成の礎となりました。

最後に、本年度のまちづくり事業を実施することができましたのは、それぞれの事業においてご協力頂いた講師の皆様、各種団体、企業、行政の皆様、運動に賛同頂きましたOB・OGの皆様のおかげであると感じております。心より感謝申し上げます。そして、一年間委員会を支えてくださった委員会メンバーの皆さん、委員会の垣根を超え、事業に協力頂いたLOMメンバーの皆さんに心から感謝の意を表し、事業報告とさせていただきます。一年間、大変お世話になりました。本当にありがとう御座いました。